

轟 とどろ

平成23年3月25日
3月号

感動の卒業式を挙行



24日(木)の午前10時から第60回卒業証書授与式を開催しました。今年の卒業式は何と記念すべき第60回となりました。卒業式の練習は、最高の卒業式にしようとする毎日のように厳しく行われました。発表の機会も多く、覚えるだけでも大変です。初めは、不安げで小さかった発表の声や歌も日ごとに大きくなり、気持ちを含めて堂々と発表できるように変わっていきました。前日の卒業式会場作りでは、5年生2人が最上級生の自覚を持って下級生をまとめながら、最高の会場づくりとなるように進めてくれました。その卒業式の主役は、梨穂さんひとりです。地域の皆さんが我が子のように見守った子どもの卒業式ということで、たくさんの方々にご参加いただきました。開式前には「五家荘の紅葉」と「梨穂さんの6年間」のプレゼンテーションが披露されました。9時55分になると会場は、一変して重々しい厳粛な雰囲気となり、主役である卒業生の堂々の入場です。メインである卒業証書授与では、呼名・返事・起立・登壇・授与・降壇・着席まで主役の場面が保証されました。この間ご両親も担任も関わった思い出が走馬燈のようによぎったことでしょう。卒業生からは、在校生や先生方そして地域の方々にお礼とメッセージが送られ、最後にご両親への感謝の心を一人ひとりが述べる頃になると感動の涙も最高潮となりました。感受性豊かな梨穂さんの感動の涙に会場に参列された人たちみなさんも、もらいなきされたようです。梨穂さんの将来に幸多からんことを祈念します。

校長コラム

ついに、この校長だより「轟 とどろ」も転勤することになったことから3月号で最後となりました。保護者や地域の皆さまには、本校の教育活動にご協力いただき本当に有り難うございました。八小の子ども達に高い学力とふるさと五家荘を自慢できる子どもに育てる目標を立てて、走りまくった3年間でした。この間、不登校も事件発生も全くなく学校経営に専念することができました。お陰さまで、やりたいことは全て達成することができました。いい子ども達と先生方そして保護者と地域の皆様に運命的に出会えて本当に良かったと思います。10月24・25日の樫木天満宮大祭で神楽保存会員の一人として舞う樫木神楽のプレッシャーや白い校舎を紅葉で取り囲むためのモミジや銀杏の苗木植樹、そして何より誰よりもいっぱい五家荘の文献を読み、子ども達に伝えようと五家荘伝説をプレゼンにして披露しデータとして残すことで、五家荘にこだわった教育活動が展開できたことなど思い出せば切りがありません。なにしろ酒宴の機会が多く、ビールオンリーで長時間飲むのは厳しかったのですが、色々な思いや考え方に接することができたことで大きな成果に繋がりました。今後、五家荘と本校がますます発展することを心から願っています。ありがとうございました。

すごい学力の伸びに！

毎年2月に実施しています全国学力標準テストの結果が先日届きました。その結果は、全国レベルで比較するものですが大変素晴らしいものでした。全国を50.0とすると国語59.0、算数60.6、総合60.0、成就値+9.7と、ものすごい結果を出してくれました。子ども達の近年の学力の伸びは、驚くほどです。中学校の卒業式でも本校の卒業生である智美さんが進行役を務め、しおりさんが在校生代表挨拶をするなど活躍が目立ちました。学力の伸びは、いろんな効果を生み自信そして夢実現に繋がっています。

6年生を送る会を在校生が開催



3日(木)に在校生が計画した「6年生を送る会」が開催されました。伝言ゲームやフルーツバスケットなど楽しい内容ばかりで笑顔いっぱいの催し物ができました。

八小が熊本城一口城主に

10月に開催された九州PTA熊本大会で樫木神楽を披露した後、熊本城を観光して一口城主として寄付をしました。先日、その証明書が学校に届きました。



漢字計算大会で全員に賞状



3学期の漢字計算大会で、初めて全員が90点以上をクリアして表彰状をもらいました。問題数も多い中で何度も見直す力がつき、イージーミスが無くなりました。

善行児童表彰で八小全員が受賞

先日、八代市生徒指導連絡協議会が主催する善行児童の表彰式が行われました。これは、児童生徒の良い行いをしている個人や団体に贈られるものです。八小は、学校周辺道路の落ち葉拾いを行い、花壇の腐葉土にしたり、冬場に積もった雪で道路が路面凍結するため、登下校時や地域の方々の自動車往来で非常に危険な状態になっているため、子どもと先生で除雪作業に取り組んだことが評価されたものです。

